



# 40年先を見据えて、これからの8年ですべきことを考える

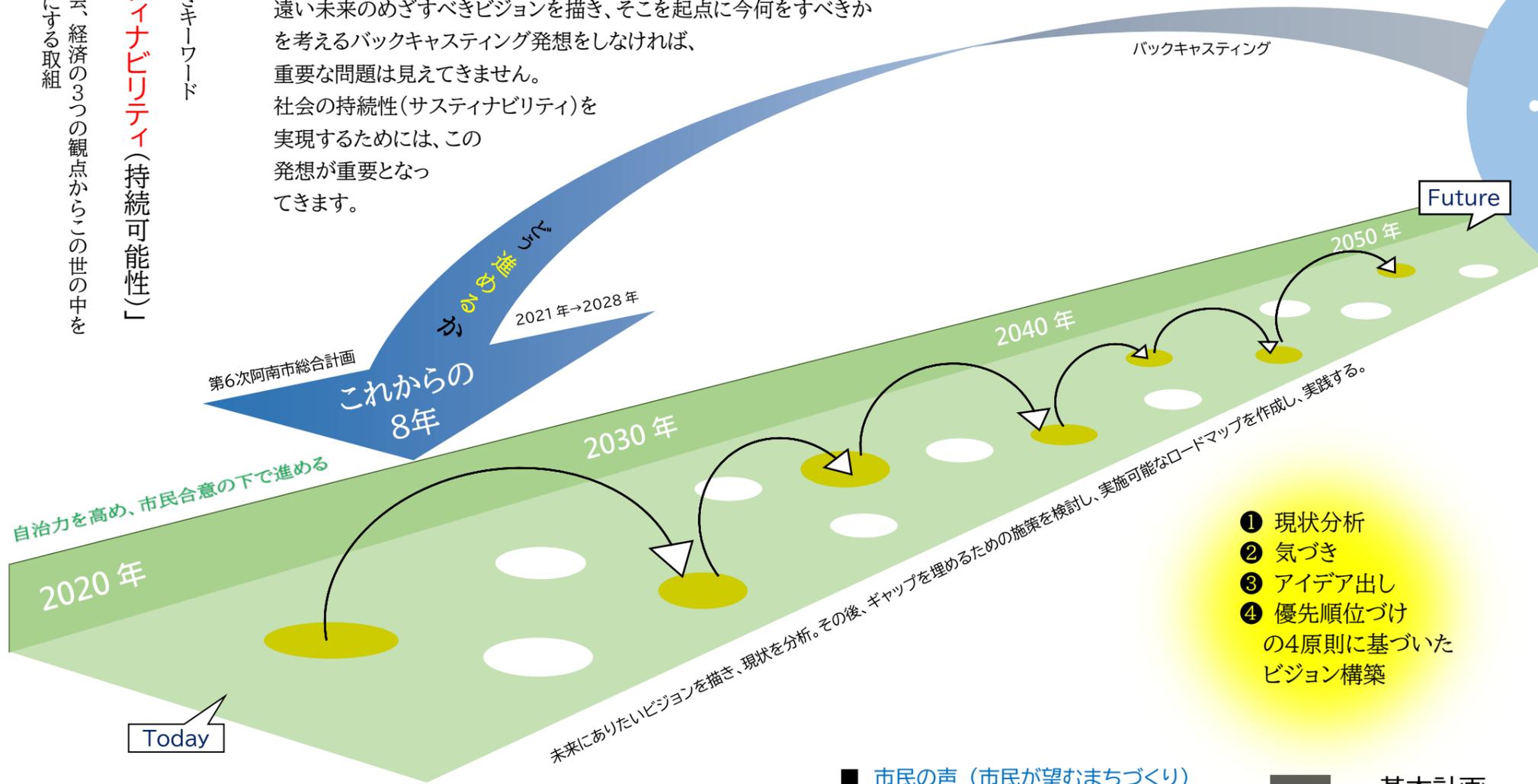
(仮称)第6次阿南市総合計画基本構想(骨子案)の検討資料

環境、社会、経済の3つの観点からこの世の中を  
持続可能にする取組

「サステナビリティ(持続可能性)」

重視すべきキーワード

科学技術の進歩や環境・社会の急激な変化により、私たちが直面する問題は過去に例のない、複雑なものになっています。前例主義やこれまでの延長線上の考え方では解決できないという意味では、これからは過去とは断絶された時代であると考えられます。従前のように漸進的に社会が変化することを前提に、5年後10年後を想定し、起こり得る問題を一つひとつ解決していくフォアキャスティング発想だけで通用するとは考えにくく、30年後、40年後といった遠い未来のめざすべきビジョンを描き、そこを起点に今何をすべきかを考えるバックキャスティング発想をしなければ、重要な問題は見えてきません。社会の持続性(サステナビリティ)を実現するためには、この発想が重要となります。



## 人口が少なくなっても豊かでキラリと輝くまち

### 2060年における阿南市の姿



## 2 長期ビジョンを描く

40年後(2060年)の人口は、およそ38,000人まで減少することが見込まれています。本格的な人口減少社会を迎えた今、みんなが幸せに暮らせる、持続可能な社会の仕組みに変えていくことが求められています。

令和の時代の新しいまちづくりの方向性として、私たちは、夢ある未来を“戦略的に縮む”ことに見出したいと考えました。

- ① 現状分析
  - ② 気づき
  - ③ アイデア出し
  - ④ 優先順位づけ
- の4原則に基づいたビジョン構築

## 1 背景・課題の分析

市民の幸福満足度  
(アンケート結果)  
H27 調査 93.0% → 96.8%  
(3.8%アップ)

### 抽出した行政課題

- ・人口減少がまち・生活に与える影響
- ・地球規模での環境問題
- ・南海トラフ地震対策
- ・少子高齢化を背景とした医療・福祉・子育て・教育環境の充実
- ・シビックテックの促進
- ・高速交通ネットワークの早期実現
- ・まちの魅力、地域力の低下

### 市民の声 (市民が望むまちづくり)

- ・安全・安心な暮らしを守る
- ・保健・医療、社会福祉の充実
- ・子育て・教育環境の充実
- ・快適で利便性の高い生活環境
- ・豊かな自然を次世代に残したい
- ・利便性の高い交通環境の整備
- ・産業振興と安定した雇用の場の確保
- ・人口減少社会に対応したまち
- ・誰もが暮らしやすいまち
- ・阿南らしさが活かされたまち
- ・若者が誇りと魅力の持てるまち

## 4 基本計画 実施計画

将来都市像を実現するための目標、手段、戦略



## 3 まちづくりの方向性と将来都市像を考察

- 市民主体による協働のまちづくり
- 地域特性を生かした魅力あるまちづくり
- 次世代につながる持続可能なまちづくり
- 若者や子育て世代に魅力あるまちづくり
- 医療・福祉の充実したまちづくり
- 未来を切り拓く革新創造のまちづくり